

取組方針

旭山工業株式会社は、『出来ないではなく、出来る方法を考える』ことをモットーに、顧客ニーズにあった舞台装置や繊維機械等の業務用機械を製造しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つである事を認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ①事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ②製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③危険物・化学物質の安全な取扱
- ④5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和2年8月20日（制定年月日）

旭山工業株式会社

代表取締役 立松 克敏

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の総排出量を、2019年度を基準として2021年度までに3%削減し、26,640kg-CO ₂ から25,800kg-CO ₂ に削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) 工場にての取組 ①昼休みと休憩時間には、コンプレッサーなど使用していない機械の電源を切る ②コンプレッサーのエア-漏れを定期的に点検する ③エアコンだけでなく扇風機など活用し空気を循環させる ④作業効率の改善により残業時間を少なくする 事務所にての取組 ⑤昼休み消灯と使用しないエリアの消灯を徹底する ⑥室温の管理を徹底する ⑦エアコンを使用する時はサーキュレーターを併用し空気を循環させる ⑧パソコンとコピー機の節電機能を活用する

目標-2	廃棄物の総排出量を、2019年度を基準として2021年度までに3%削減し、11トンから10.7トンに削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ①廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する ②廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する ③不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する ④製品をできるだけ長期間使用する

目標一3	水の総使用量を、2019年を基準として2021年度までに3%削減し、110m ³ から107m ³ に削減する。
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①配管からの漏水を定期的に点検する ②手洗い場に節水を呼びかける表示をする ③蛇口に節水用のシャワーヘッドを取り付ける ④タオルの洗濯はまとめて行う

目標一4	コピー用紙の使用量を、2019年度を基準として2021年度までに3%削減し、15,000枚から14,500枚に削減する
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①両面印刷、両面コピーを徹底する ②使用済み用紙の裏面を利用する ③印刷機に節約を呼びかける表示をする ④書類、資料の電子データ化を進める

目標一5	社内の取組推進体制を構築し、環境保全に関する地域社会への貢献活動を推進する
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境保全活動の計画や実施状況を社内に掲示する ②環境保全に関する定例会議の開催や、省エネ節電パトロールなどを通じて、従業員等に対して環境保全活動の重要性を啓発する ③地域清掃などのボランティア活動に参加・協力する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。